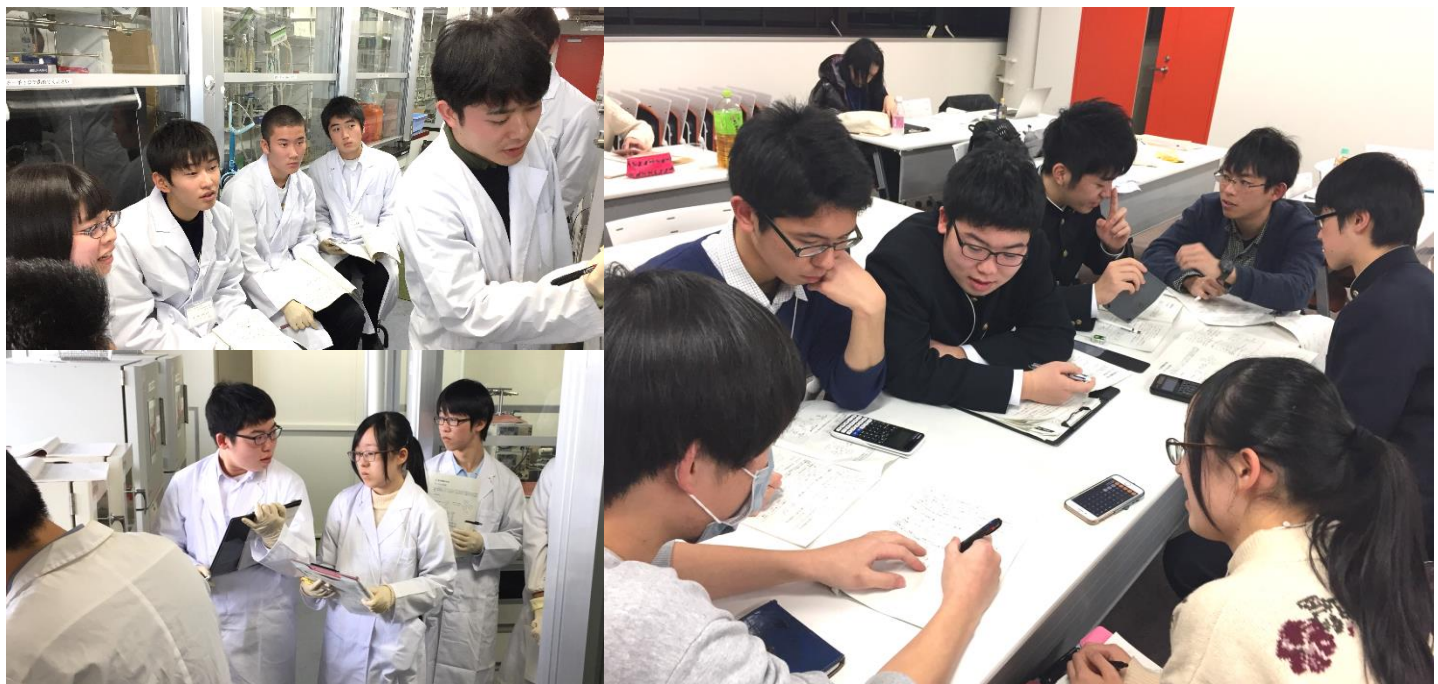


米沢興讓館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール



平成29年12月21日(木) 12月23日(土)、山形大学工学部を会場に「ウィンターサイエンスキャンピングin米沢」が開催された。本校は、有機EL研究の世界的権威である城戸淳二教授と連携し、サイエンスイノベーションの素養を育成する取組を推進してきた。本校のこれらの取り組みの一端を、本校が取りまとめ・調整役となり、広域のSSH指定校等の生徒が参加できるように合宿型の「体験型先端科学実験講座(有機ELの光で照らしてみよう(有機ELをつくる))」として実施した。このキャンピングに参加した生徒は有機EL素子を実際に作製し、電気を流して光らせる等、先端的な科学技術を体験的に学んだ。

ウィンターサイエンスキャンピングin米沢



「有機ELの未来」
1年5組男子

私はウィンターサイエンスキャンピングを通して、日本最先端の技術に触れてきました。講義では、有機ELは印刷によって光ること、極薄で作れる特徴から、テレビを壁や曲面に貼ることが可能になると聞き、驚くと同時に楽しみになりました。講義は難しく、不安もありましたが、実験は大学生にも手伝っていたり、楽しく取り組むことができました。実際に自分で作製した有機ELが光ったときには本当に感動しました。さらに、市外県外からの参加者との交流もありました。特に北海道から参加した方が、講義の内容を理解するだけでなく、一歩先へ踏み込んだ所まで質問する姿を見て、私ももっと頑張らねばと刺激を受けることができました。有機ELの弱点は寿命が短いことだと聞きました。私は将来有機ELの研究をして、人々に長く使ってもらえるようなものを作り上げたいです。またこのような機会があればぜひ参加したいと思っています。

参加した生徒の感想

初めて自分の目の前で有機ELデバイスを使ったり、クリーンルームに入ったりと、高校生では体験できないとても良い経験となった。このような泊りこみで普段の理科の授業から発展した研究を詳しく教えて見せて頂き充実したキャンプになった。今まで以上に有機ELについて近くで触れ知識を増やすことができて良かった。ここで得た知識を描く夢に活かせるように、頑張りたいと思った。内容はちよつと難しかったが、今回勉強して有機ELの凄さや可能性、科学の凄さっていうのがよく分かった。なので今後有機ELについて勉強していきたいと思った。日本の最先端の技術に触れ、貴重な体験をすることができた。科学へ対する興味が深まって良かった。



098 山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

